

障害者雇用促進のために 地域で連携した取り組みをご紹介します

長崎県CSR通信
～第120号～

特別支援学校の卒業生にとって、就労支援を行っている障害福祉サービス事業所は、福祉的就労の受け皿或いは一般就労へのさらなる訓練の場として機能しています。在校生にとっても、アセスメントや体験実習の場となることもあるでしょう。学校と事業所は、それぞれの役割分担がありますが、障害を持つ方に、一人でも多く一般就労をしていただくという最終目的は同じです。

今回は、11月27日に「長崎県北地区就労促進フォーラムin佐世保2015 & 佐世保市就労支援ネットワーク会議」を共同で開催した長崎県立佐世保特別支援学校と佐世保地区障がい者就労支援協議会をご紹介します。

～ 教育と福祉が連携した障害者雇用促進イベント 県北地域 ～

「長崎県北地区就労促進フォーラムin佐世保2015 & 佐世保市就労支援ネットワーク会議」の実施状況

- ・ 佐世保特別支援学校見学
生徒さんの案内で、会場となった学校の施設や授業の様子を見学しました。廊下沿いの壁に企業や事業所へ実習に行った生徒さんの感想が貼ってあり、実習先で働きたいと書かれていますの方が多かったのが、印象的でした。
- ・ 障害者多数雇用企業講演
障害者雇用率日本一のエフピコグループ (株)ダックス四国 福山工場 障がい者雇用責任者 且田 久美 様の講演がありました。雇用されている障害者のうち、多くは、重度の知的障害の方です。また、職場定着率が高い(「親より長くつきあう企業」とのこと)のために、自社でのさらなる雇用が困難となったことにより、他社へのコンサルタント業務も行い、社会全体での障害者雇用促進に努められています。
- ・ グループ討議
教員、事業所職員、企業からの参加者がグループに分かれ、「雇用につながる情報の共有化について～学校・施設・企業との連携～」をテーマに話し合いがされました。

長崎県立佐世保特別支援学校

小学部から高等部まで、知的障害教育と肢体不自由教育の2つの障害種に対応する特別支援学校です。27年度の在校生は、240名。本校以外に北松分教室、上五島分教室もあり、訪問教育も行っています。

佐世保地区障がい者就労支援協議会

平成21年に障害者の就労支援を行っている事業所を中心として設立しました。毎年、佐世保市内で開催している「障がい者雇用フェスタ」の実施主体としての活動をはじめ、商品販売会や研修会等を行っています。現在のところ、佐世保市内の26事業所が加盟。経済団体や企業との結びつきを深めていくことが、これからの課題です。



長崎県立佐世保特別支援学校
中村 敦 校長
「就労促進フォーラムは、6回目の開催となります。今回は、障害福祉サービス事業所の団体をパートナーとして開催できたことを嬉しく思います。」



佐世保地区障がい者就労支援協議会
松田 律子 代表
「毎年、別々に開催していましたが、今回は、山崎教諭をはじめ学校の方々のご協力のおかげで、合同での開催となりました。」

参加者より一言 (株)野田武一商店
代表取締役 野田洋市 様
「中小企業にとって、障害者の方と障害福祉サービス事業所は、重要なパートナーとなります。今後とも一緒にやっていきましょう。」

「長崎県CSR通信」 電話095-895-2454
FAX095-823-5082
発行 平成27年12月11日 長崎県福祉保健部障害福祉課
バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索

佐世保地区障がい者就労支援協議会への加盟を希望される障害福祉サービス事業所又は例会の見学をされたい方は、下記へお問い合わせください。

佐世保地区障がい者就労支援協議会事務局
〒857-0112 佐世保市袖木町1272番地
千草野学園内 田道 TEL 080-8388-5542